

SHARP®

初 版
1994年7月作成

シャーププログラマブルコントローラ

ボードPCJ-board

Z-300シリーズ

形名 サテライトネットボード：Z-335J

ユーザーズマニュアル

このたびは、シャープ プログラマブルコントローラ J-board : Z-300シリーズをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本書(Z-335J:サテライトネットボード ユーザーズマニュアル)は、サテライトネットボードの仕様等、主にハード的な内容について、JW-22CMとの相違点の説明を行っています。

Z-335J:サテライトネットボード をご使用前には、本書と併せて、詳細説明をした『JW-22CMユーザーズマニュアル』をよくお読みください。

尚、取り付け方法等J-boardの基本的な使用方法については、『J-board Z-200/300シリーズ Z-311/Z-321J・・・ユーザーズマニュアル.ハード編』を参照ください。

本書の対象機種

機種名	名称
Z-335J	サテライトネットボード

- ・ 本書の内容については十分注意して作成しておりますが、万一ご不審な点、お気づきのことがありましたらお買い上げの販売店、あるいは当社サービス会社までご連絡ください。
- ・ 本書の内容の一部又は全部を無断で複写することは禁止されています。
- ・ 本書の内容は、改良のため予告なしに変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

目次

	ページ
1. 概要	1
2. 特に注意すること	1
3. 製品構成	3
4. システム構成	
4-1. 基本構成／実装制限	4
4-2. データリンクシステム	5
4-3. コンピュータリンクシステム	6
5. 仕様	
5-1. 一般仕様	7
5-2. 通信仕様	7
5-3. データリンク仕様	7
5-4. コンピュータリンク仕様	7
6. 各部の名称と説明	8
7. ボードサイズ	9
8. I/Oのアドレス割り付け	10
9. 立ち上げ手順	12
9-1. SW設定表	13
9-2. パラメータ設定表	14
10. 表示ランプ／エラーコード	17

1. 概要

Z-335Jは、プログラマブルコントローラ J-board : Z-300シリーズ(以下J-boardと略す)用のサテライトネット用ボードです。本ボードをJ-boardに実装することにより、最大64局のJ-board, JWシリーズ間でデータの授受が容易に行えます。

2. 特に注意すること

■ 設置に関すること

設置にあたっては、次のような場所は避けてください。

- ・発熱体に近接する場所や、周囲温度が0～55℃(保存時-20～70℃)の範囲を越える場所
- ・温度変化が急激で、結露するような場所
- ・腐食性ガスや可燃性ガスのある場所
- ・振動や衝撃が直接伝わるような場所
- ・塵埃、鉄粉、塩分の多い場所

(特に基板に直接影響のある場合は、必ずJ-boardを適当なケースに格納してください)

- ・高圧機器、動力機器、大きな開閉サージを発生する機器、及びそれらの配線の近傍

■ 使用に関すること

- ・機械の破損や人身事故防止のため、非常停止回路は外部で構成し、J-boardの停止出力を組み込んでください。
- ・J-boardはボード構造で、電子部品が露出していますので、取扱いには下記に注意してください。
 - ①直接ボードに触れる場合は、人体の静電気を除去してから触れてください。
 - ②オイル等汚れのひどい手で直接触れないようにしてください。
 - ③ボード単体で置かれる時は、金属板等の導電性のあるものの上には、直接置かないでください。
 - ④各種スイッチやコネクタ、端子台は、過大な力で操作しないように注意してください。
- ・ボードの接続、コネクタの装着、各種の設定スイッチ(SW)の変更は、必ず電源を切った状態で行ってください。

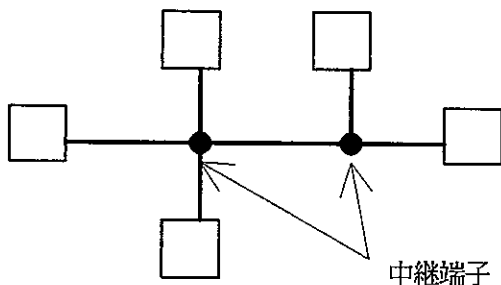
■ 接地に関すること

J-boardのFG端子(CPUボードの端子台)は、強電アースと共用を避け、単独に第3種接地を行ってください。

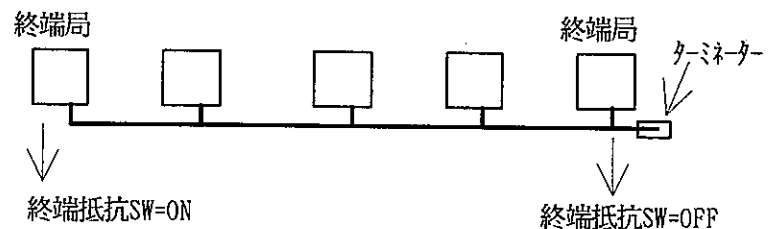
■ 配線に関すること

- ・通信ケーブル、コネクタ及び圧着工具は、必ず推奨品を使用してください。
- ・通信ケーブルの配線は、動力線、高圧線、I/O配線などとの平行近接を避けてください。
- ・幹線から分岐した支線の長さは400mm以内としてください。
- ・通信ケーブルのタコ足配線(1箇所から複数分岐)や終端のない配線は行わないでください。

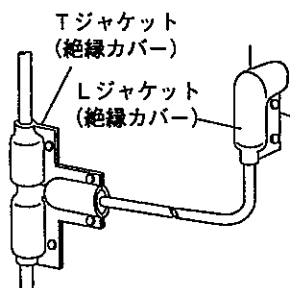
[悪い配線例]



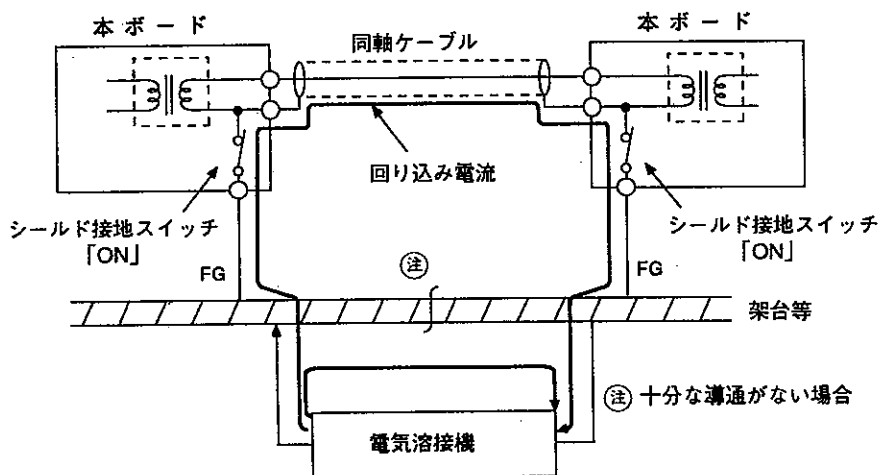
[良い配線]



- ・分岐・中継等コネクタ使用場所には、ジャケットを取り付けてコネクタを保護してください。
(コネクタが外部筐体等に触れると通信異常の原因になります。)



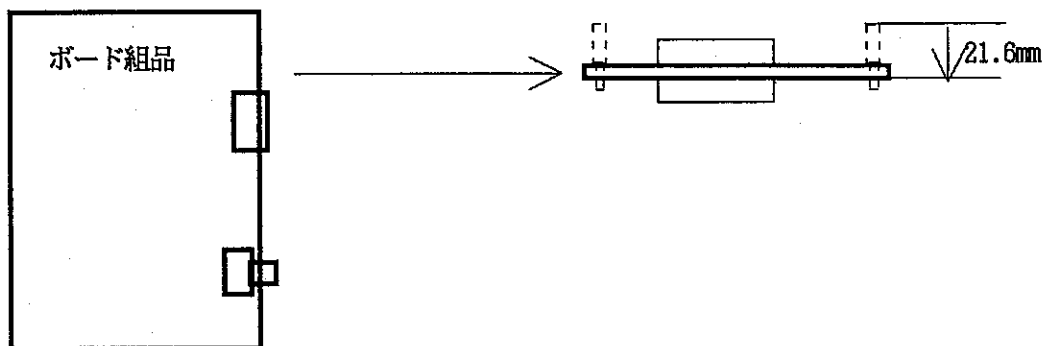
- ・本ボードを設置している近くで電気溶接工事を行うときは、本ボードから同軸ケーブルを取り外してください。同軸ケーブルを取り付けた状態で溶接を行うと、溶接電流が回り込み本ボードの回路パターンの一部が焼損する場合があります。



★ ケーブル加工方法、配線方法の詳細については、『JW-22CM ユーザーズマニュアル』の第6章、第7章を参照してください

3. 製品構成

【Z-335J：サテライトネットボード】



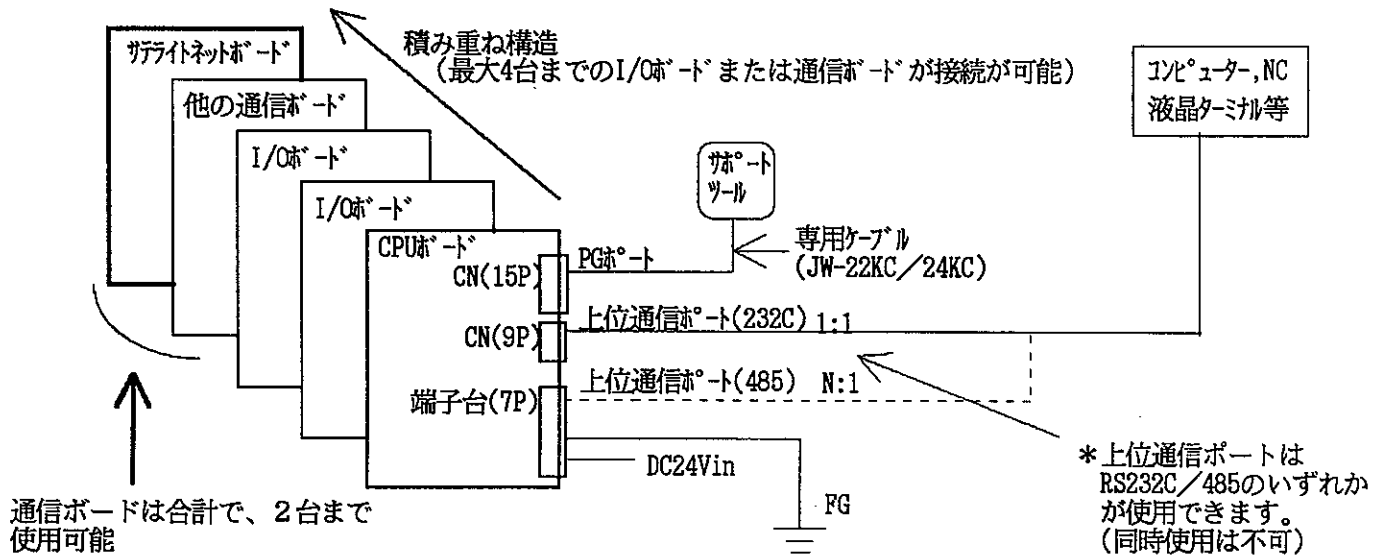
付属品

基板-基板固定用六角ボス(20mm) : 4ヶ
ビス(セルフスタンプ M3×6mm) : 4ヶ

20mm
6mm
六角ボス : 15mm
ビス : M3×6

4. システム構成

4-1. 基本構成/実装制限

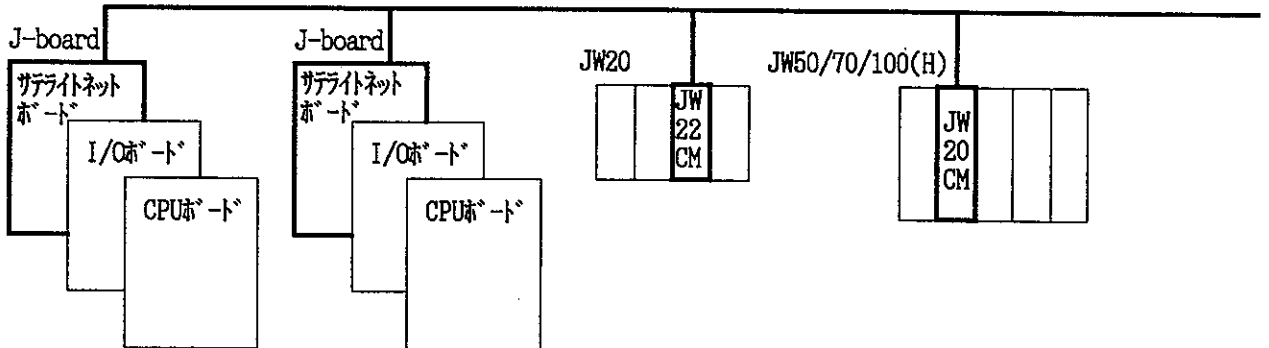


通信ボードの実装制限

1. Z-335J : サテライトネットボードは、他の通信ボードを含めて最大2台までの通信ボードの接続が可能です。
(I/Oボードも含めた合計では、最大4台まで)

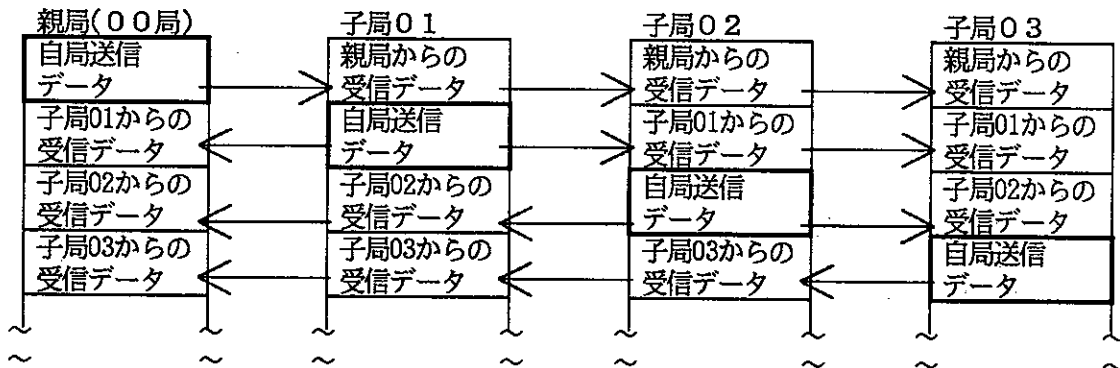
4-2. データリンクシステム

接続局数：最大64局，総延長距離：1km，伝送速度：1.25MBPS
 リンク点数：最大2048点(リリンク) 最大2048ポート(リンク)



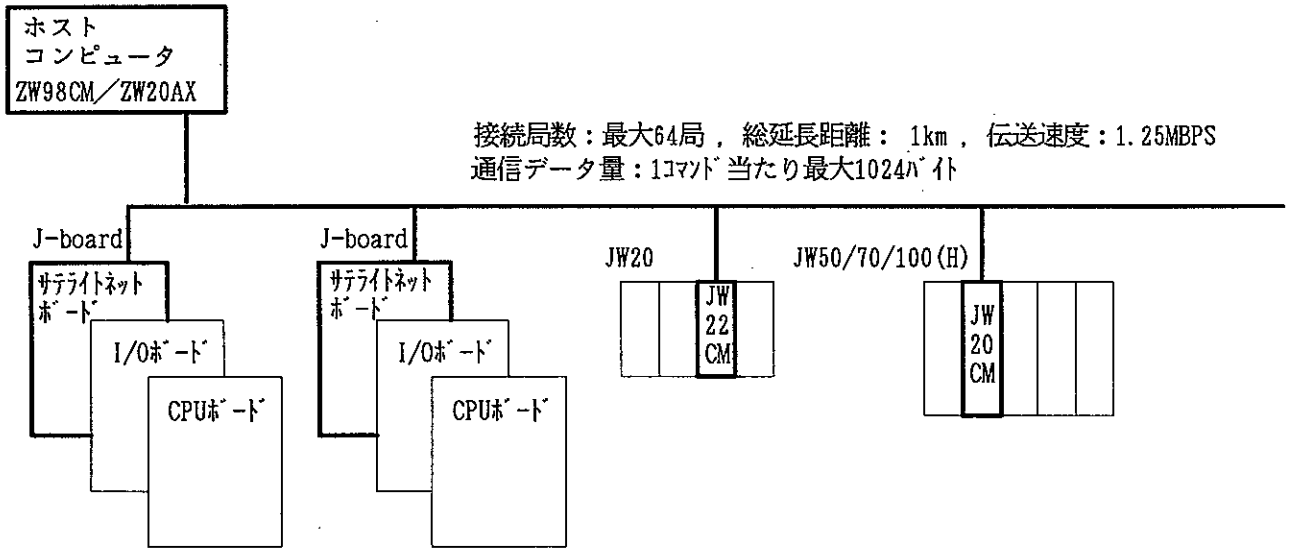
[データリンクの通信方式]

データリンクは、下図のように親局と子局及び子局相互間のデータの送受信を行なう通信方式です。



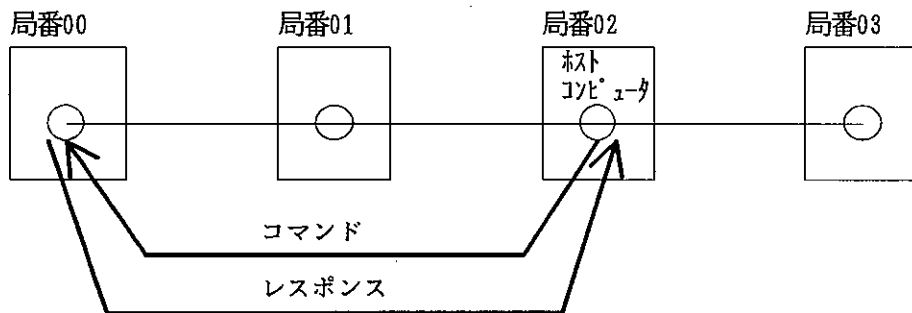
4-3. コンピューターリンクシステム

*コンピューターリンクは、データリンクと同一回線上で使用可能です。



[コンピューターリンクの通信方式]

コンピューターリンクは、ホストコンピュータと各局番間で1：1通信を行います。また、コンピューターリンクでは、データリンクの親局/子局とは関係なく、任意の局番間で通信できます。ホストコンピュータからのコマンド(命令)に対して、受信した局はそれを処理し、結果をレスポンス(返信)する通信方式です。



5. 仕様

5-1. 一般仕様(共通仕様)

項目	仕様
使用周囲温度/湿度	0~55℃ / 35~90%RH (結露なきこと)
保存周囲温度/湿度	-20~70℃ / 35~90%RH(結露なきこと)
振動	JISC-0911に準拠 複振幅 0.15mm(10~58Hz) 1G(55~150Hz) X,Y,Z各方向 2H
衝撃	JISC-0912に準拠 10G X,Y,Z方向 3回
耐ノイズ性	1000Vp-p 1μS (ノイズシミュレータによる:電源ラインに印加)
取り付け	3方向フリー
接地	第3種接地
5V消費電流	280mA
重量	約250g

5-2. 通信仕様

項目	仕様	
通信方式	トークン. パッシング	
伝送速度	1.25Mbps	
伝送フォーマット	JIS X-5104 1/16バルド・リンク制御手順(HDLC)のフレーム構成に準拠 検定方式:CRC	
同軸ポート	変調方式	位相連続周波数変調(FSK)
	通信網形式	バス方式
	通信回線	同軸ケーブル:5C-2V JIS.C-3501 特性インピーダンス:75Ω ケーブル総延長:最大1km
	接続コネクタ	ボード側:BNCレセクタブル(ジャック) ケーブル側:BNCプラグ

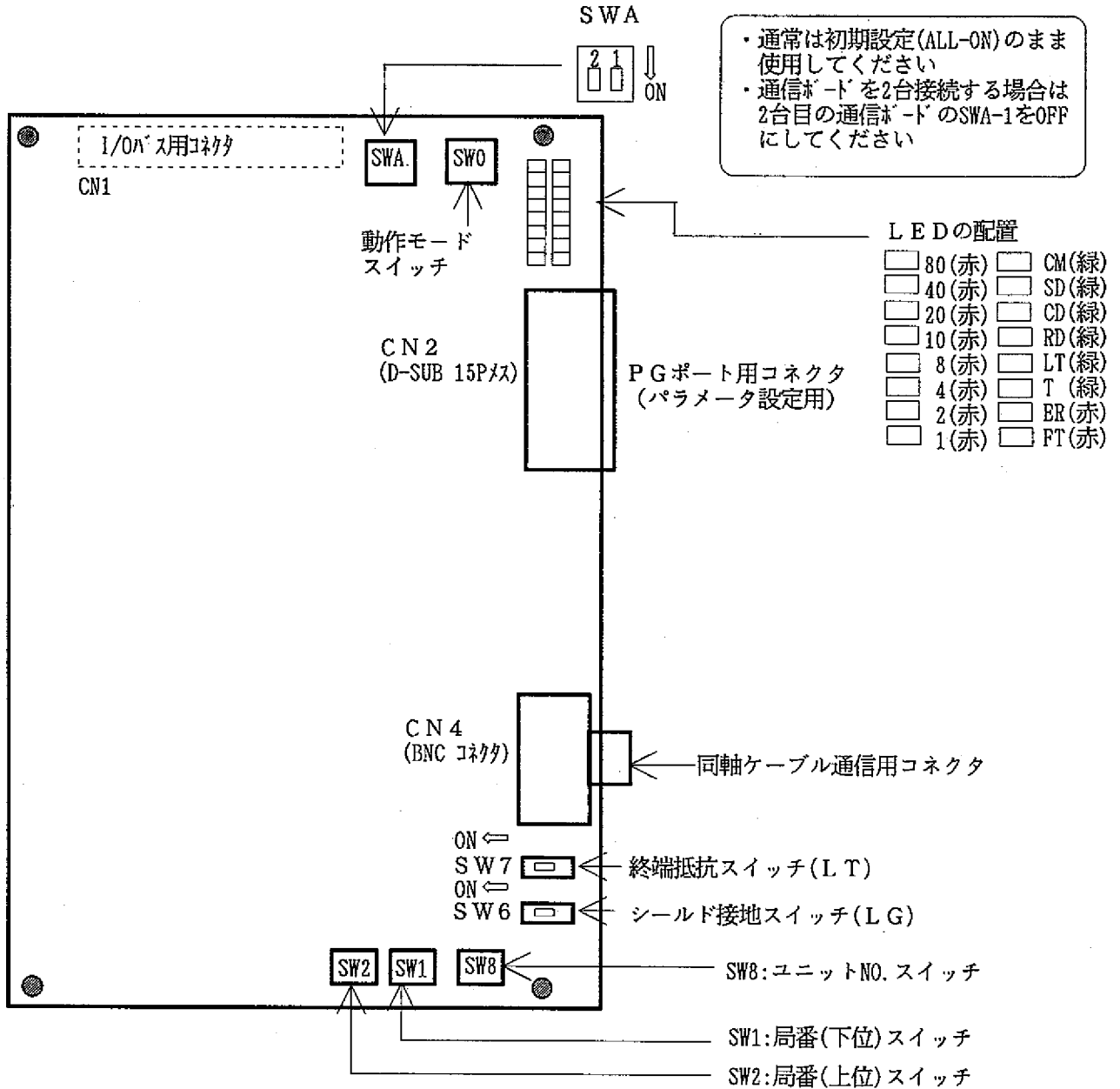
5-3. データリンク仕様

項目	仕様	
標準機能時	接続局数	最大64局
	リンク領域	リレーリンク:1,0000~1577, 09000~39777 / レジスタリンク:1,0000~1577, 09000~99777
	リンク点数	リレーリンク:最大2048点/レジスタリンク:最大2048バイト
	フラグ領域	本ボードのパラメータにより設定(初期値 1.740)
	通信形態	N:M
省メモリ機能時	接続局数	最大64局
	リンク領域	リレーリンク:1,0000~1477 / レジスタリンク:09000~49777 *エントNO.SW(SW8)で設定
	リンク点数	リレーリンク:最大2048点/レジスタリンク:最大2048バイト
	1台当りの送信点数	リレーリンク:最大256点/レジスタリンク:最大256バイト
	フラグ領域	本ボードのパラメータにより設定(初期値 1.740)
通信形態	N:M	

5-4. コンピュータリンク仕様

リンク局数	最大64局
通信データ量	1コマンド当たり最大1024バイト
通信制御	ホストコンピュータからのコマンドに応答
制御内容	データメモリの読みだし/書き込み プログラムメモリの読みだし/書き込み PCのコントロール

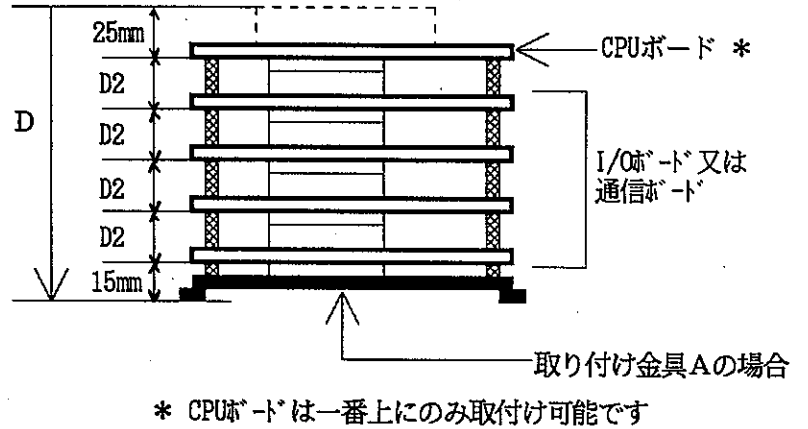
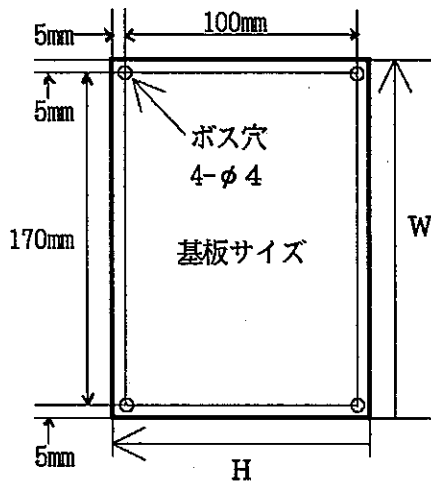
6. 各部の名称と説明



設定SW

SW番号	SWの種類	初期設定	SWの内容
SWA	1 2	デビット SW (2極)	ON 通信ボードを2台使用時に、2台目の通信ボードはOFFにします
			ON 常時 ONで使用します
SW0	MODE	ロタリ-SW (0~F)	2 動作モードの設定: 子局の場合標準機能/省メモリ機能を選択
SW1	STA NO. ×1	ロタリ-SW (0~9)	0 局番(下位桁)
SW2	STA NO. ×10	ロタリ-SW (0~9)	0 局番(上位桁)
SW6	LG	スライド SW (1極)	ON シールド接地の設定: ONでシールド端子とJ-boardのFG間が導通する *通常はONで使用します
SW7	LT	スライド SW (1極)	OFF 終端抵抗の設定: ONで終端抵抗有効 *終端局はON, 中間局はOFFで使用します
SW8	UNIT NO.	ロタリ-SW (0~9)	0 ユニットNO. SW: リング領域/異常履歴格納領域/スロット領域等の設定

7. ボードサイズ



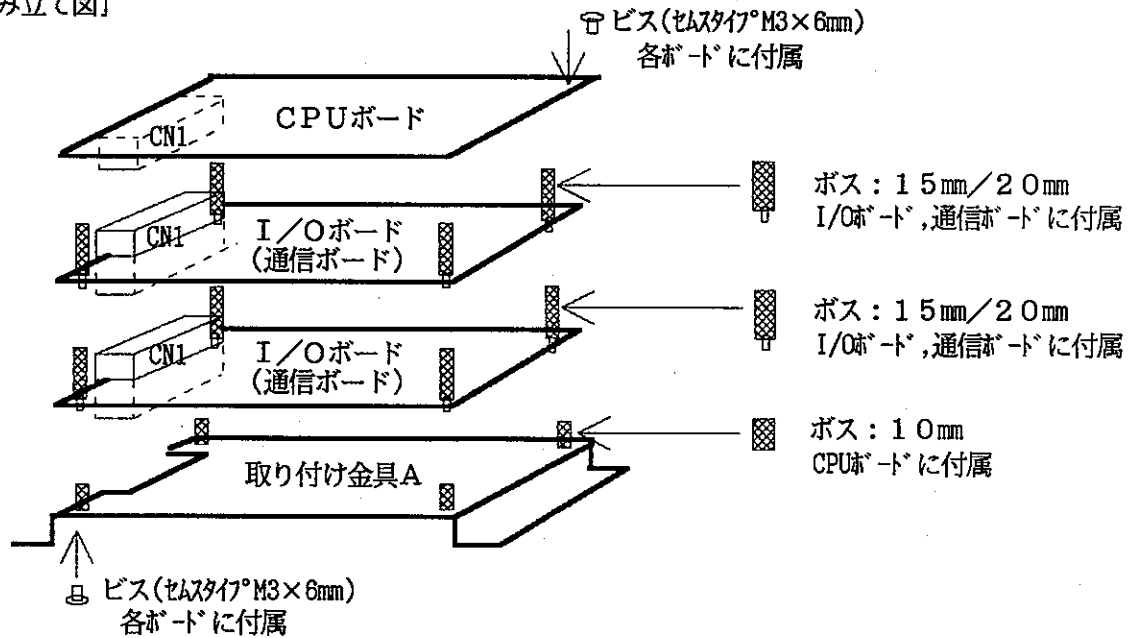
基板サイズ (取り付け金具を含んだサイズではありません)

種類	H	W	D	重量*
Z-335J: サブボード	117.5mm	180mm	21.6mm(D2)	約250g

* 重量は、ボス、ビスを含みます

J-boardの組み立ては、付属のボス、ビスを使って下図のように組み立ててください。

[組み立て図]



注意 ボード間接続は接続用コネクタ(CN1)の位置を合わせて、確実に装着してください。
また、取り外す場合は無理な角度で取り外さないように注意してください。

[組み立てに必要な工具]

- ・+ドライバー
- ・BOX(6角)ドライバー : 6mm用

ボスの形状



8. I/Oのアドレス割り付け

Z-335J:サテライトネットボードは、J-board Z300シリーズの通信ボードに属し、I/Oリレー割り付けは、他の通信ボードと同様、8バイト分占有されます。

★通信ボードではI/Oリレーはダミーとして割り付けられ、機能的には使用しませんが、他のI/OボードのI/Oリレーの割り付けアドレスに影響を及ぼしますので注意してください


[通信ボードを1台使用時のI/Oアドレス割り付け]
(SWA-1=ON, SWA-2=ONの時)

[Z-335J:サテライトネットボード]


	アドレス
Z-335J	コ.000
(オプション)*	コ.001
ダミー (アキ)	コ.002
	コ.003
ダミー (アキ)	コ.004
	コ.005
ダミー (アキ)	コ.006
	コ.007

* オプションとして割り付けられますが、機能的には使用しないダミー領域となります。

[通信ボードを2台使用時のI/Oアドレス割り付け]

1台目の通信ボード	アドレス
	コ.000
SWA-1=ON	コ.001
SWA-2=ON	コ.002
	コ.003
	コ.004
	コ.005
	コ.006
	コ.007

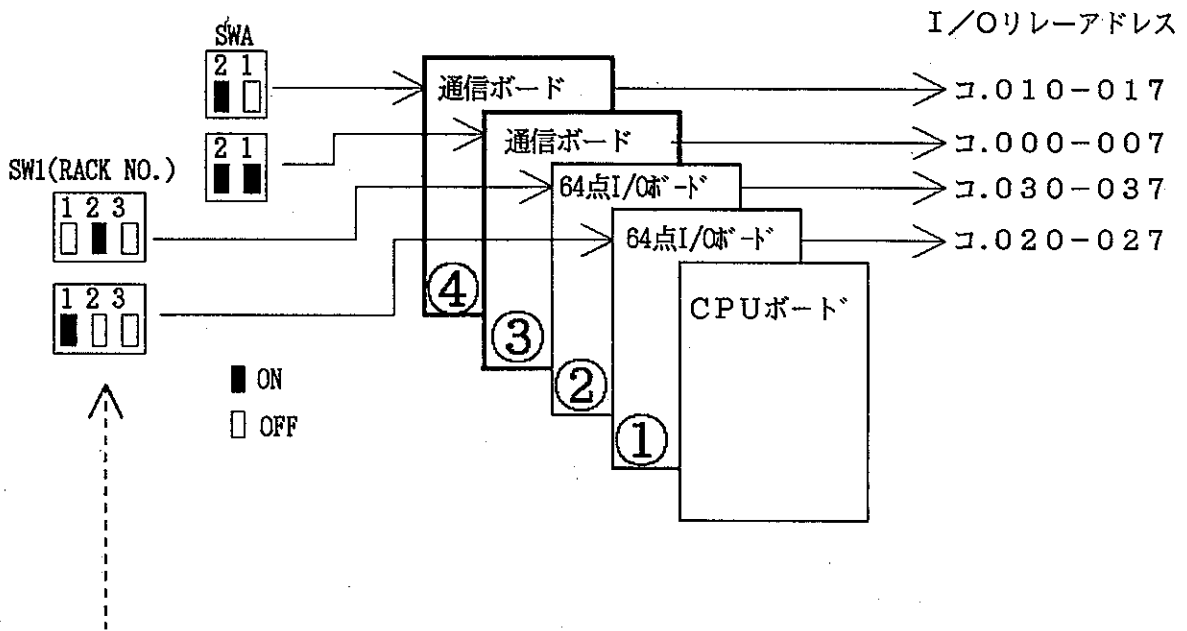
ON
 OFF

2台目の通信ボード	アドレス
	コ.010
SWA-1=OFF	コ.011
SWA-2=ON	コ.012
	コ.013
	コ.014
	コ.015
	コ.016
	コ.017

注意

1. 通信ボードを使用する時はI/OボードのRACK.NO(SW1の設定)は『1』から設定してください。
I/OボードのRACK.NO(SW1の設定)を『0』にするとエラーになりJ-boardは運転できません。
2. 通信ボードは2台までの接続が可能です。

【設定例】



通信ボードを使用する時は、I/OボードのSW1(RACK.NO)設定は“1”から設定してください。
I/OボードのSW1(RACK.NO)の設定を“0”にすると『I/O照合エラーコード60』になります。

上記の実装状態の場合、I/Oリレーアドレスと実装アドレスの関係は、下記ようになります

対象ボード	SW1 (RACK NO.)	SWA	I/Oリレーアドレス	実装アドレス
① I/Oボード	1 2 3 ■ □ □	2 1 ■ ■	コ. 020, 021	R=1, S=0
			コ. 022, 023	R=1, S=1
			コ. 024, 025	R=1, S=2
			コ. 026, 027	R=1, S=3
② I/Oボード	1 2 3 □ ■ □	2 1 ■ ■	コ. 030, 031	R=2, S=0
			コ. 032, 033	R=2, S=1
			コ. 034, 035	R=2, S=2
			コ. 036, 037	R=2, S=3
③ 通信ボード	/	2 1 ■ ■	コ. 000, 001	R=0, S=0
			コ. 002, 003	R=0, S=1
			コ. 004, 005	R=0, S=2
			コ. 006, 007	R=0, S=3
④ 通信ボード	/	2 1 ■ □	コ. 010, 011	R=0, S=4
			コ. 012, 013	R=0, S=5
			コ. 014, 015	R=0, S=6
			コ. 016, 017	R=0, S=7

9. 立ち上げ手順

1. SWの設定

- 9-1.の『SW設定』に基づき各SWを設定する
* SWの設定は電源OFF→ON時に確定される

2. 電源ON

3. サテライトネットボードのPGポート(CN2)にサポートツールPG(12PG等)を接続

4. PCを停止

PG操作

5. パラメータ設定モードにする

PG操作

6. 通信動作を停止

パラメータ7777を00(HEX)にする

7. パラメータの設定

9-2.の『パラメータ設定』に基づきパラメータを設定する

8. 通信動作をスタート(パラメータをEEPROMに書き込み後スタート)

パラメータ7777を81(HEX)にする → 正常に動作スタートすると01(HEX)になる

9. パラメータ設定モードを解除する

PG操作

10. PCを運転にする

PG操作

★CPUのPGポートからもPCを停止している場合は、サポートツールをCPUのPGポートに接続してPCを運転モードにしてください。

*パラメータ変更時は『5. パラメータ設定モードにする』から実施する。

9-1. SW設定表

SW NO.	設定内容	設定値																																																
SWA-1	複数台使用時の設定 2台目の通信ボードはSWA-1をOFFに設定する(SWA-2は常時ONで使用してください)																																																	
SW0	動作モード選択 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>親局/子局</th> <th>データリンクのモード</th> <th>設定値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>親局の場合</td> <td>標準機能</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">子局の場合</td> <td>標準機能</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>省メモリ機能</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table> <p style="margin-left: 20px;">*コンピュータリンク機能は2,3のどちらにも含まれています</p>	親局/子局	データリンクのモード	設定値	親局の場合	標準機能	2	子局の場合	標準機能	2	省メモリ機能	3																																						
親局/子局	データリンクのモード	設定値																																																
親局の場合	標準機能	2																																																
子局の場合	標準機能	2																																																
	省メモリ機能	3																																																
SW1	局番の設定(下位桁)	局番は8進数で00~77の範囲で設定してください 例) 親局 → 00																																																
SW2	局番の設定(上位桁)	子局6 → 06																																																
SW8 (ユニットNO. SW)	SW0 = 2の場合: 異常履歴格納レジスタ領域の設定 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>設定値</th> <th>異常履歴格納レジスタ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>0</td><td>E1400~1577</td></tr> <tr><td>1</td><td>E1200~1377</td></tr> <tr><td>2</td><td>E1000~1177</td></tr> <tr><td>3</td><td>E0600~0777</td></tr> <tr><td>4</td><td>E0400~0577</td></tr> <tr><td>5</td><td>E0200~0377</td></tr> <tr><td>6</td><td>E0000~0177</td></tr> <tr><td>7~9</td><td>設定禁止</td></tr> </tbody> </table> SW0 = 3の場合: データリンク省メモリ機能のリンク領域/異常履歴格納レジスタ領域の設定 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">設定値</th> <th colspan="2">データリンク(省メモリ機能)</th> <th rowspan="2">異常履歴格納レジスタ</th> </tr> <tr> <th>リレーリンク領域</th> <th>レジスタリンク領域</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>0</td><td>コ.1000~1077</td><td>09000~09777</td><td>E1400~1577</td></tr> <tr><td>1</td><td>コ.1100~1177</td><td>19000~19777</td><td>E1200~1377</td></tr> <tr><td>2</td><td>コ.1200~1277</td><td>29000~29777</td><td>E1000~1177</td></tr> <tr><td>3</td><td>コ.1300~1377</td><td>39000~39777</td><td>E0600~0777</td></tr> <tr><td>4</td><td>コ.1400~1477</td><td>49000~49777</td><td>E0400~0577</td></tr> <tr><td>5~9</td><td colspan="2">設定禁止</td><td></td></tr> </tbody> </table>	設定値	異常履歴格納レジスタ	0	E1400~1577	1	E1200~1377	2	E1000~1177	3	E0600~0777	4	E0400~0577	5	E0200~0377	6	E0000~0177	7~9	設定禁止	設定値	データリンク(省メモリ機能)		異常履歴格納レジスタ	リレーリンク領域	レジスタリンク領域	0	コ.1000~1077	09000~09777	E1400~1577	1	コ.1100~1177	19000~19777	E1200~1377	2	コ.1200~1277	29000~29777	E1000~1177	3	コ.1300~1377	39000~39777	E0600~0777	4	コ.1400~1477	49000~49777	E0400~0577	5~9	設定禁止			
設定値	異常履歴格納レジスタ																																																	
0	E1400~1577																																																	
1	E1200~1377																																																	
2	E1000~1177																																																	
3	E0600~0777																																																	
4	E0400~0577																																																	
5	E0200~0377																																																	
6	E0000~0177																																																	
7~9	設定禁止																																																	
設定値	データリンク(省メモリ機能)		異常履歴格納レジスタ																																															
	リレーリンク領域	レジスタリンク領域																																																
0	コ.1000~1077	09000~09777	E1400~1577																																															
1	コ.1100~1177	19000~19777	E1200~1377																																															
2	コ.1200~1277	29000~29777	E1000~1177																																															
3	コ.1300~1377	39000~39777	E0600~0777																																															
4	コ.1400~1477	49000~49777	E0400~0577																																															
5~9	設定禁止																																																	
SW7	終端抵抗の設定 終端局は ON(終端抵抗アリ) にします 中間局は OFF(終端抵抗ナシ) にします																																																	
SW6	シールド接地の設定(通常はONで使用してください) ON : シールド端子とJ-boardのFG間が導通する OFF : シールド端子とJ-boardのFG間が導通しない																																																	

9-2. パラメータ設定表

■ データリンク親局の設定(標準機能の場合)

パラメータアドレス	設定内容	設定値	備考																																																																																	
4000	親局上でのリレリンク	ファイルアドレス	例: 1.1000の場合→001000 リレ、レジスタリンク機能は01 例: 12局の場合→012 ★親と同じ先頭アドレスの場合は設定不要 (4004~4007=000:初期値) ・個別の設定をする場合は個別設定スイッチ (4007のMSB)を1にする→4007=200(COT) 例: 子局01の先頭アドレスが1.1200の場合 4004,5→001200 4006→000 4007→200																																																																																	
4001	先頭アドレス	□□□□□(OCT-W)																																																																																		
4002	機能設定	01 (HEX)																																																																																		
4003	接続局数の設定(2~64台)	□□□(DCM)																																																																																		
4004	子局01上でのリレリンク	ファイルアドレス																																																																																		
4005	先頭アドレスの設定	□□□□□(OCT-W)																																																																																		
4006		ファイル番号																																																																																		
4007		個別設定スイッチ																																																																																		
↓																																																																																				
子局77上でのリレリンク先頭アドレスの設定																																																																																				
4400	親局上でのレジスタリンク	ファイルアドレス	例: 19000の場合 4400,1→005000 4402→000 4403→000 ★親と同じ先頭アドレスの場合は設定不要 (4404~4407=000:初期値) ・個別の設定をする場合は個別設定スイッチ (4407のMSB)を1にする→4407=200(COT) 例: 子局01の先頭アドレスが29000の場合 4404,5→006000 4406→000 4407→200																																																																																	
4401	先頭アドレス	□□□□□(OCT-W)																																																																																		
4402		ファイル番号																																																																																		
4403		-																																																																																		
4404	子局01上でのレジスタリンク	ファイルアドレス																																																																																		
4405	先頭アドレスの設定	□□□□□(OCT-W)																																																																																		
4406		ファイル番号																																																																																		
4407		個別設定スイッチ																																																																																		
↓																																																																																				
子局77上でのレジスタリンク先頭アドレスの設定																																																																																				
5000	親局のリレリンク送信バイト数の設定	□□□□□(DCM-W)	例: 8バイトの場合→00008 * 1局当りのバイト数は0~256バイト (全局合計はmax256バイト)																																																																																	
5001																																																																																				
5002	子局01のリレリンク送信バイト数の設定	□□□□□(DCM-W)																																																																																		
5003																																																																																				
↓																																																																																				
子局77のリレリンク送信バイト数の設定																																																																																				
5200	親局のレジスタリンク送信バイト数の設定	□□□□□(DCM-W)	例: 64バイトの場合→00064 * 1局当りのバイト数は0~2024バイト (全局合計はmax2048バイト)																																																																																	
5201																																																																																				
5202	子局01のレジスタリンク送信バイト数の設定	□□□□□(DCM-W)																																																																																		
5203																																																																																				
↓																																																																																				
子局77のレジスタリンク送信バイト数の設定																																																																																				
7750~7757	子局の接続状況★ ・接続している局番に 該当する右記ビットを ONすると、通信エラー 発生時にエラーコードの 確認ができます	<table border="1"> <thead> <tr> <th>ビット目</th> <th>7</th> <th>6</th> <th>5</th> <th>4</th> <th>3</th> <th>2</th> <th>1</th> <th>0</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7750</td> <td>07</td> <td>06</td> <td>05</td> <td>04</td> <td>03</td> <td>02</td> <td>01</td> <td>00</td> </tr> <tr> <td>7751</td> <td>17</td> <td>16</td> <td>15</td> <td>14</td> <td>13</td> <td>12</td> <td>11</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>7752</td> <td>27</td> <td>26</td> <td>25</td> <td>24</td> <td>23</td> <td>22</td> <td>21</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>7753</td> <td>37</td> <td>36</td> <td>35</td> <td>34</td> <td>33</td> <td>32</td> <td>31</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>7754</td> <td>47</td> <td>46</td> <td>45</td> <td>44</td> <td>43</td> <td>42</td> <td>41</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>7755</td> <td>57</td> <td>56</td> <td>55</td> <td>54</td> <td>53</td> <td>52</td> <td>51</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>7756</td> <td>67</td> <td>66</td> <td>65</td> <td>64</td> <td>63</td> <td>62</td> <td>61</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>7757</td> <td>77</td> <td>76</td> <td>75</td> <td>74</td> <td>73</td> <td>72</td> <td>71</td> <td>70</td> </tr> </tbody> </table>	ビット目	7	6	5	4	3	2	1	0	7750	07	06	05	04	03	02	01	00	7751	17	16	15	14	13	12	11	10	7752	27	26	25	24	23	22	21	20	7753	37	36	35	34	33	32	31	30	7754	47	46	45	44	43	42	41	40	7755	57	56	55	54	53	52	51	50	7756	67	66	65	64	63	62	61	60	7757	77	76	75	74	73	72	71	70	例: 子局01~04を接続し、エラーコードを出力 する 7750-00011111 7751-00000000 7757-00000000 親局(7750の0ビット目)は全体としてエラー コードを出力するか否かを定めるSWです (出力する場合は1にしてください)
ビット目	7	6	5	4	3	2	1	0																																																																												
7750	07	06	05	04	03	02	01	00																																																																												
7751	17	16	15	14	13	12	11	10																																																																												
7752	27	26	25	24	23	22	21	20																																																																												
7753	37	36	35	34	33	32	31	30																																																																												
7754	47	46	45	44	43	42	41	40																																																																												
7755	57	56	55	54	53	52	51	50																																																																												
7756	67	66	65	64	63	62	61	60																																																																												
7757	77	76	75	74	73	72	71	70																																																																												
7764	通信フラグ先頭アド	ファイルアドレス	初期値は1.740(フラグ出力する) *フラグは先頭アドレスから24バイト占有される (他の使用領域との重複に注意) 例: フラグ先頭アドレスを1500に設定する場合 7764,5→001500 7766→000 7767→200																																																																																	
7765	レスの設定	□□□□□(OCT-W)																																																																																		
7766		ファイル番号																																																																																		
7767		フラグ出力スイッチ																																																																																		

★接続されている局番に対応するビットをON(1)にすると、通信異常が発生時に、システムメモリ#170及び異常履歴格納領域(Bレジスタ)にエラーコードを格納し、エラーコード表示用LEDにエラーコードを表示します。

■ データリンク親局の設定(子局が省メモリ機能の場合)

パラメータアドレス	設定内容	設定値	備考																																																																																	
4000	親局上でのリレーリンク	ファイルアドレス	例: 1.1000の場合→001000																																																																																	
4001	先頭アドレス																																																																																			
4002	機能設定	01 (HEX)																																																																																		
4003	接続局数の設定(2~64台)	□□□(DCM)																																																																																		
4004	子局01上でのリレーリンクエリアのオフセットバイト数の設定	□□□□□(DCM-W)																																																																																		
4005																																																																																				
4006		常時00(HEX)を設定																																																																																		
4007		常時80(HEX)を設定																																																																																		
↓ 子局77上でのリレーリンクエリアのオフセットバイト数の設定																																																																																				
4400	親局上でのレジスタリンク	ファイルアドレス	例: 19000の場合 4400,1→005000 4402→000 4403→000																																																																																	
4401	先頭アドレス																																																																																			
4402	ファイル番号	□□□(OCT)																																																																																		
4403	-	000(OCT)																																																																																		
4404	子局01上でのレジスタリンクエリアのオフセットバイト数の設定	□□□□□(DCM-W)	例: 子局01のオフセットバイト数が80バイトの場合 4404,5→00080 4406→00 4407→80																																																																																	
4405																																																																																				
4406		常時00(HEX)を設定																																																																																		
4407		常時80(HEX)を設定																																																																																		
↓ 子局77上でのレジスタリンクエリアのオフセットバイト数の設定																																																																																				
5000	親局のリレーリンク送信バイト数の設定	□□□□□(DCM-W)	例: 8バイトの場合→00008 * 1局当りのバイト数は0~32バイト (全局合計はmax256バイト)																																																																																	
5001																																																																																				
5002	子局01のリレーリンク送信バイト数の設定	□□□□□(DCM-W)																																																																																		
5003																																																																																				
↓ 子局77のリレーリンク送信バイト数の設定																																																																																				
5200	親局のレジスタリンク送信バイト数の設定	□□□□□(DCM-W)	例: 64バイトの場合→00064 * 1局当りのバイト数は0~256バイト (全局合計はmax2048バイト)																																																																																	
5201																																																																																				
5202	子局01のレジスタリンク送信バイト数の設定	□□□□□(DCM-W)																																																																																		
5203																																																																																				
↓ 子局77のレジスタリンク送信バイト数の設定																																																																																				
7750~7757	子局の接続状況★ ・接続している局番に該当する右記ビットをONすると、通信エラー発生時にエラー内容の確認ができます	<table border="1"> <thead> <tr> <th>ビット目</th> <th>7</th> <th>6</th> <th>5</th> <th>4</th> <th>3</th> <th>2</th> <th>1</th> <th>0</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7750</td> <td>07</td> <td>06</td> <td>05</td> <td>04</td> <td>03</td> <td>02</td> <td>01</td> <td>00</td> </tr> <tr> <td>7751</td> <td>17</td> <td>16</td> <td>15</td> <td>14</td> <td>13</td> <td>12</td> <td>11</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>7752</td> <td>27</td> <td>26</td> <td>25</td> <td>24</td> <td>23</td> <td>22</td> <td>21</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>7753</td> <td>37</td> <td>36</td> <td>35</td> <td>34</td> <td>33</td> <td>32</td> <td>31</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>7754</td> <td>47</td> <td>46</td> <td>45</td> <td>44</td> <td>43</td> <td>42</td> <td>41</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>7755</td> <td>57</td> <td>56</td> <td>55</td> <td>54</td> <td>53</td> <td>52</td> <td>51</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>7756</td> <td>67</td> <td>66</td> <td>65</td> <td>64</td> <td>63</td> <td>62</td> <td>61</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>7757</td> <td>77</td> <td>76</td> <td>75</td> <td>74</td> <td>73</td> <td>72</td> <td>71</td> <td>70</td> </tr> </tbody> </table>	ビット目	7	6	5	4	3	2	1	0	7750	07	06	05	04	03	02	01	00	7751	17	16	15	14	13	12	11	10	7752	27	26	25	24	23	22	21	20	7753	37	36	35	34	33	32	31	30	7754	47	46	45	44	43	42	41	40	7755	57	56	55	54	53	52	51	50	7756	67	66	65	64	63	62	61	60	7757	77	76	75	74	73	72	71	70	例: 子局01~04を接続し、エラーコードを出力する 7750-00011111 7751-00000000 7757-00000000 親局(7750の0ビット目)は全体としてエラーコードを出力するか否かを決めるSWです(出力する場合は1にしてください)
ビット目	7	6	5	4	3	2	1	0																																																																												
7750	07	06	05	04	03	02	01	00																																																																												
7751	17	16	15	14	13	12	11	10																																																																												
7752	27	26	25	24	23	22	21	20																																																																												
7753	37	36	35	34	33	32	31	30																																																																												
7754	47	46	45	44	43	42	41	40																																																																												
7755	57	56	55	54	53	52	51	50																																																																												
7756	67	66	65	64	63	62	61	60																																																																												
7757	77	76	75	74	73	72	71	70																																																																												
7764	通信フラグ先頭アドレスの設定	ファイルアドレス	□□□□□(OCT-W)	初期値は1.740(フラグ出力する) *フラグは先頭アドレスから24バイト占有される(他の使用領域との重複に注意) 例: フラグ先頭アドレスを11500に設定する場合 7764,5→001500 7766→000 7767→200																																																																																
7765																																																																																				
7766		ファイル番号	□□□(OCT)																																																																																	
7767		フラグ出力スイッチ	□00(OCT) 2→フラグ出力する 0→フラグ出力しない *MSBが1で出力																																																																																	

★接続されている局番に対応するビットをON(1)にすると、通信異常が発生時に、システムメモリ#170及び異常履歴格納領域(ELレジスタ)にエラーコードを格納し、エラーコード表示用LEDにエラーコードを表示します。

■ データリンク子局の設定(全子局共通)

パラメータアドレス	設定内容	設定値	備考
7764	通信フラグ先頭アドレスの設定	ファイルアドレス	初期値は1.740(フラグ出力する) *フラグは先頭アドレスから24ビット占有される (他の使用領域との重複に注意)
7765		□□□□□(OCT-W)	
7766		ファイル番号	□□□(OCT)
7767		フラグ出力スイッチ	□○○(OCT) 2→フラグ出力する 0→フラグ出力しない *MSBが1で出力
			例: 1.1500に変更する場合 7764,5→001500 7766→000 7767→200

10. 表示ランプ/エラーコード

LED名	表示条件	復旧方法
CM(緑)	リンク動作時(通信中)点灯	—
SD(緑)	データ送信時点灯	—
RD(緑)	データ受信時点灯	—
DC(緑)	キャリア検出時点灯	—
LT(緑)	終端抵抗ON時点灯	—
T(緑)	テスト中点灯(メーカ側の出荷検査で使用)	—
ER(赤)	通信異常時点灯	通信ケーブルの断線チェック スイッチの設定内容チェック パラメータの設定内容チェック
FT(赤)	ウォッチドックタイマのタイムアップ時点灯	本ボードの交換

LED『1』～『80』は、異常発生時、エラーコードを表示します。エラーコードとその原因、対策は下表のとうりです。

エラー表示								LEDの表示	J-ド (HEX)	原因	システムメモリに格納されるエラーコード		対策	
80	40	20	10	8	4	2	1				#160～ (HEX)	#170～ (HEX)		
○	○	○	○	○	○	○	●	01	上位CPU ROM異常	53	—	本ボードを交換		
○	○	○	○	○	○	○	○	02	上位CPU RAM異常					
○	○	○	○	○	○	○	○	03	上位CPU PCとの2本*トRAM異常					
○	○	○	○	○	○	○	○	04	上位CPU 通信CPUとの2本*トRAM異常					
○	○	○	○	○	○	○	○	11	通信CPU ROM異常	1F	—	通信ケーブルをチェック 子局番号の重複をチェック 本ボードを交換		
○	○	○	○	○	○	○	○	12	通信CPU RAM異常					
○	○	○	○	○	○	○	○	18	通信CPU 通信LSI異常					
○	○	○	○	○	○	○	○	1F	応答なし					
○	○	○	○	○	○	○	○	20	複数トークン検出				20	パラメータ設定を
○	○	○	○	○	○	○	○	21	重複アドレス検出				21	チェック
○	○	○	○	○	○	○	○	22	送信部故障				22	本ボードを交換
○	○	○	○	○	○	○	○	23	規定時間以内にトークンが回ってこない				23	通信ケーブルをチェック
○	○	○	○	○	○	○	○	2A	受信バッファオーバーフロー	2A				
○	○	○	○	○	○	○	○	2B	フルーム長エラー	—	2B			
○	○	○	○	○	○	○	○	2C	マイの施工不良及び外部ノイズで発生				2C	
○	○	○	○	○	○	○	○	30	EEPROM不良	—	30	本ボードを交換		
○	○	○	○	○	○	○	○	60	SW設定エラー	—	60	SWの設定をチェック		
○	○	○	○	○	○	○	○	6E	BCCエラー	—	6E	パラメータ設定を		
○	○	○	○	○	○	○	○	6F	パラメータ設定異常	—	6F	チェック		
○	○	○	○	○	○	○	○	C1	通信異常：子局01番	—	C1	通信ケーブルをチェック		
○	○	○	○	○	○	○	○	C2	通信異常：子局02番	—	C2	子局ユニットをチェック		
○	○	○	○	○	○	○	○	FE	通信異常：子局76番	—	FE			
○	○	○	○	○	○	○	○	FF	通信異常：子局77番	—	FF			

●：点灯 ○：消灯

注意

電源投入時にエラーコード23 (HEX), 2A (HEX)を格納することがありますが、エラーではありません。

★ 異常と対策/フラグ/交換方法/パラメーターの記録、再生等の詳細については、『JW-22CM ユーザーズマニュアル』の第11章、12章、13章、15章を参照してください。

●この製品に関するご意見・ご質問は下記へお寄せください。

FAシステム事業部 FA営業部

仙 台	☎(022) 288-1131	仙台市若林区卸町東3丁目1番27号
東 京	☎(03)3235-7351	東京都新宿区市谷八幡町8番地
豊 田	☎(0565) 29-0131	豊田市山之手8丁目124番コスモビル山之手4階
名 古 屋	☎(052) 332-2691	名古屋市中川区山王3丁目5番5号
大 阪	☎(06) 606-5459	大阪市阿倍野区西田辺町1丁目19番20号
広 島	☎(082) 248-0131	広島市中区中町9番8号

●アフターサービスなどについてのお問い合わせ先

シャープお客様ご相談窓口

シャープシステムサービス㈱

仙 台 技術センター	☎(022) 288-9161	仙台市若林区卸町東3丁目1番27号
宇 都 宮技術センター	☎(0286) 34-0256	宇都宮市不動前4丁目2番41号
前 橋 技術センター	☎(0272) 52-7311	前橋市問屋町1丁目3番7号
東京フィールド サポートセンター	☎(03)3810-9962	東京都北区田端新町2丁目2番12号
横 浜 技術センター	☎(045) 753-9583	横浜市磯子区中原1丁目2番23号
静 岡 技術センター	☎(054) 283-9497	静岡市曲金6丁目8番44号
名 古 屋技術センター	☎(052) 332-2671	名古屋市中川区山王3丁目5番5号
金 沢 技術センター	☎(0762) 49-9033	石川県石川郡野々市町字御経塚町1096の1
大阪フィールド サポートセンター	☎(06) 794-9671	大阪市平野区加美南3丁目7番19号
広 島 技術センター	☎(082) 874-6100	広島市安佐南区西原2丁目13番4号
高 松 技術センター	☎(0878) 23-4980	高松市朝日町6丁目2番8号
松 山 技術センター	☎(0899) 73-0121	松山市高岡町178の1
福 岡 技術センター	☎(092) 572-2617	福岡市博多区井相田2丁目12番1号

※上記の所在地・電話番号などは変わることがあります。その節はご容赦願います。

シャープ株式会社

本 社 〒545 大阪市阿倍野区长池町22番22号

電話 (06) 621-1221 (大代表)

FAシステム事業部 〒639-11 奈良県大和郡山市美濃庄町492番地

電話 (07435)3-5521 (大代表)

お客様へ……お買いあげ日、販売店名を記入されますと、修理などの依頼のときに便利です。

お買いあげ日	年	月	日
販売店名			
	電話 ()	局	番

TINSJ5263NCZZ
4G0.3-A(4G)①
1994年7月作成